

# 古墳カードをGET！ 歩こう！ 狛江の古墳

“歩こう！ 狛江の古墳”は、ポイントとなる5つの古墳めぐりウォークラリーです。

めぐり順番やまわるルートは自由。

裏面の地図をもとに、まちを散策しながら古墳を訪ねてみてください。

1日にすべてまわらなくても構いません。

そして、現地にて古墳を訪れた“あかし”を手に入れてください。

“あかし”を手には、“市役所3階社会教育課窓口”または“むいから民家園”を訪ねれば、“古墳カード”が手に入ります！

さらに、5つの古墳をコンプリートすると…

めぐり古墳は、裏面の地図でピックアップしている5つの古墳。

では、いざ、歩こう！ 狛江の古墳！



## 古墳カードをGET!するには

**Step 1** ポイントとなっている古墳へ行く  
ポイントの古墳は、裏面の地図でピックアップしている5つの古墳

**Step 2** 古墳で“あかし”を手に入れる  
“あかし”とは、現地で撮影した古墳の写真  
本人が古墳と一緒に写っていればなおよ

**Step 3** 市役所またはむいから民家園に行き  
カードを手に入れる  
“あかし”（撮影した写真）を提示するとカードが手に入ります  
※カードの配布は、なくなり次第終了します

さらに、手に入れた5枚の古墳カードを提示すると…

問合わせ先（窓口）  
狛江市教育委員会  
教育部社会教育課文化財担当（狛江市役所3階）

狛江市和泉本町1-1-5 03-3430-1111（内線2371）  
土・日・祝・年末年始休み 9:00～17:00

むいから民家園（狛江市立古民家園）

狛江市元和泉2-15-5 03-3489-8981  
月（休日のときはその翌開園日）・年末年始休み 9:30～16:30

お願い  
\*個人の敷地内にある古墳には勝手に立ち入らないでください。  
※市内で立ち入ることのできる古墳は、兜塚古墳、亀塚古墳、猪方小川塚古墳の3か所です。  
\*史跡を傷つけたり、汚したりしないでください。  
\*写真を撮影する際は、周囲の安全に十分注意してください。  
※ウォークラリー中の事故等について、主催者側はその責任を負いかねますので、十分に注意してください。

## 古墳とは…

古墳とは、古い墳丘墓（土を盛って小高い丘になっているお墓）という意味です。日本列島の大部分では、3世紀後半から7世紀にかけて、一定の造り方に則った壮大な古墳が数多く造られました。前方後円墳をはじめとする古墳は、この時期の政治的な秩序を象徴しており、よってこの時代のことを古墳時代と呼んでいます。

古墳時代は、古墳の規模や形、埋葬施設の構造などによって、前期・中期・後期・終末期に区分されます。狛江には、中期から後期にかけての約100年間に、集中して数多くの古墳が造られ、「狛江百塚」と称されてきました。

## 古墳の主体部：埋葬施設のこと①

古墳には、墳丘という土を高く盛り上げた部分と、周溝という墳丘を囲む堀の部分があります。そして、亡くなった人を埋葬する主体部（埋葬施設）が設けられています。

埋葬施設は大きく竪穴系と横穴系に分けられ、竪穴系は、墳丘を造ってから墳頂部などを掘り下げて、亡くなった人を埋葬します。埋葬する際に、亡骸は、木や石で造られた棺に納められますが、その形は様々で、舟や家の形をしたものもあります。また、木で作られた木棺の場合は、棺を覆う檜が設けられます。檜は、粘土や木炭、礫（小石）などを材料にして造られます。

## 古墳のカタチ

古墳というと巨大な前方後円墳をイメージしますが、実はその形や大きさはさまざまです。例えば、壁画で有名な高松塚古墳やキトラ古墳は円墳で、大きさは直径25メートル、高さ5メートルを超えない程度のもになります。多摩地域に目を向けると、府中市の熊野神社古墳は上円下方墳、多摩市の稲荷塚古墳は八角形墳と呼ばれる特殊な形をしています。

狛江の古墳は、円墳がほとんどで、直径約45メートル、高さ約5メートルの兜塚古墳が今のところ最大規模になります。帆立貝形の亀塚古墳は残念ながら…。

## 古墳の主体部：埋葬施設のこと②

横穴系の埋葬施設は、墳丘を造る過程で、石でできた部屋（石室）を造り、この部屋に亡骸を埋葬します。

この部屋は、石材を積み上げたり、組み合わせたりして造られますが、墳丘の上から埋葬して天井石で塞ぐ竪穴式と墳丘の中にトンネル状の部屋を造り横から出入りして亡骸を埋葬する横穴式があります。

古墳はお墓なので当然亡くなった人が埋葬されています。ただし、その埋葬方法は時期や地域によって異なり、多摩川流域では、6世紀後半から7世紀にかけて横穴式石室をもつ古墳が造られました。